

管弦楽団 チェコ・フィルハーモニー

セミヨン・ビシュコフ 指揮



【ピアノ】チョ・ソンジン
©Christoph Köstlin / Deutsche Grammophon

スメタナ：
連作交響詩『わが祖国』より
「モルダウ」

ラヴェル：
ピアノ協奏曲 ト長調

チャイコフスキー：
交響曲第5番 ホ短調

2025 10/21 [火]

19:00開演 (18:15開場)

文京シビックホール 大ホール

東京メトロ丸ノ内線・南北線「後楽園」駅(直結)、都営地下鉄三田線・大江戸線「春日」駅(直結)
B-ぐる(文京区コミュニティバス)停留所1番「文京シビックセンター(春日駅前)」

【指揮】セミヨン・ビシュコフ
©Marco Borggreve



©Petra Hajsk

【管弦楽】チェコ・フィルハーモニー管弦楽団

◎料金(全席指定・税込)

SS席 17,000円／S席 15,000円／A席 13,000円／B席 11,000円
C席 9,000円／D席 7,000円

学生割引あり

S席7,500円／A席6,500円／B席5,500円

5月27日(火) 10:00～よりシビックチケットのみで受付開始。
*ご入場時に必ず学生証をご提示ください。
提示が無い場合は、当日受付にて通常価格との差額をお支払いいただきます。

チケット
発売日

4/27 (日) 10:00～

※発売初日のチケットのお求めは、お一人様4枚までとなります。お席は選べません。

〈チケットのお求め・お問合せ〉

シビックチケット 03-5803-1111

東京都文京区春日1-16-21 文京シビックセンター2F
(10:00～19:00 土・日・祝休日とも受付。ただし、5/18(日)は休業)

右記プレイガイドでも
お求めいただけます。

- シビックホール メンバーズ インターネット限定で入会金・会費は無料 <https://b-civichall.pia.jp/>
- チケットぴあ <https://t.pia.jp/>
- イープラス <https://eplus.jp/> [4/28(月) 10:00より発売]

主催：文京シビックホール(公益財団法人文京アカデミー) <https://www.b-academy.jp/hall/>

●未就学児の入場はご遠慮願います。●都合により出演者、内容が変更になる場合がございます。●ご予約後の変更、キャンセルはお受けできません。●公演中止を除き、ご入金後の払い戻しはいたしません。予めご了承ください。



伝統と革新が 融合する 唯一無二のサウンド

チェコが誇る世界最高峰のオーケストラの一つ、チェコ・フィルハーモニー管弦楽団。ソリストに、クラシック界の新時代を代表し、圧倒的な才能と生来の音楽性を有するチョ・ソンジンを迎えて「ラヴェル／ピアノ協奏曲」を、そして、日本でもお馴染みの「スメタナ／モルダウ」と「チャイコフスキー／交響曲第5番」を同楽団の音楽監督・首席指揮者セミヨン・ビシュコフによる渾身のタクトでお贈りします。

©Marco Borggreve



セミヨン・ビシュコフ

Semyon Bychkov

(音楽監督・首席指揮者)

1952年サンクトペテルブルグ生まれ。イリヤ・ムージンに師事。20歳でラフマニノフ指揮者コンクール優勝。89年サンクトペテルブルグ・フィルの首席客演指揮者、パリ管の音楽監督に就任。97年ケルン放送響の首席指揮者、98年ドレスデン国立歌劇場の首席指揮者に就任。2018年チェコ・フィルの首席指揮者・音楽監督となる。これまでにミラノ・スカラ座、パリ・オペラ座、ドレスデン国立歌劇場、メトロポリタン歌劇場他主要歌劇場に登場。2018年ウィーン国立歌劇場とパイロイト音楽祭でワーグナーの「パルジファル」を指揮。また、ウィーン・フィル、ベルリン・フィル、ロイヤル・コンセルトヘボウ管、ロンドン響、ミュンヘン・フィル、ゲヴァントハウス管、ニューヨーク・フィル、シカゴ響、フィラデルフィア管、クリーヴランド管等と共演を重ねている。2016年以降英デッカによる、チェコ・フィルとの「チャイコフスキー・プロジェクト」が進行中。2015年インターナショナル・オペラ・アワードの「年間最優秀指揮者」に選出された。

©Stephan Rabold



チョ・ソンジン

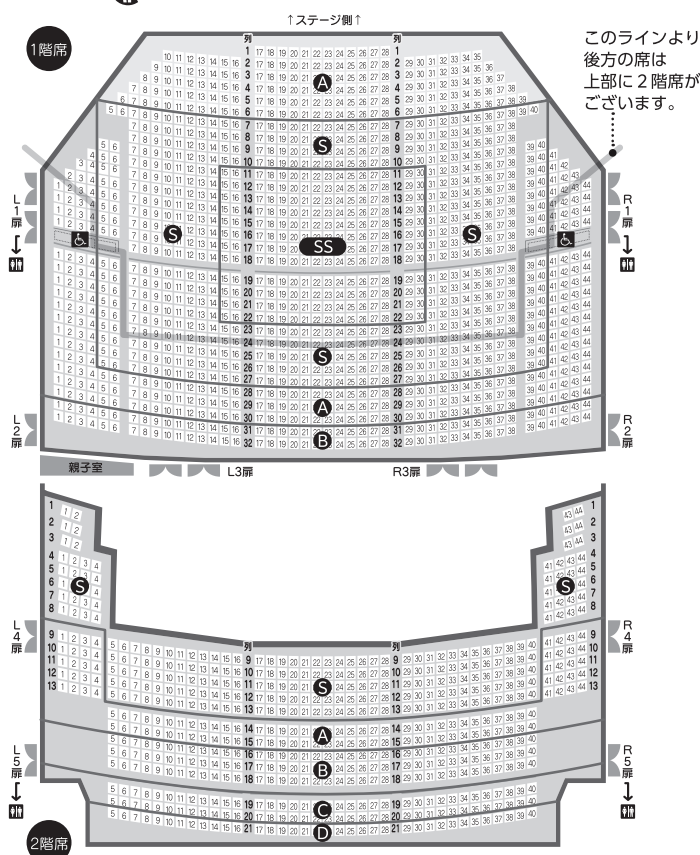
Seong-jin Cho

(ピアノ)

1994年ソウル生まれ。第7回浜松国際ピアノ・コンクールで最年少優勝。2011年、17歳でチャイコフスキー国際コンクール第3位入賞。2012-2015年にパリ音楽院でミシェル・ベロフに学ぶ。2015年、第17回シヨパン国際ピアノ・コンクールで優勝し、国際的な脚光を浴びる。翌年にドイツ・グラモフォンと専属契約を結び、シヨパンの協奏曲第1番と4つのバーードを収録したCDがリリースされた。その後も数々のCDをリリースし、世界中の批評家から絶賛された。圧倒的な才能と生来の音楽性を持つチョ・ソンジンは、同世代で最も優れた才能を持つひとりとして、ベルリン・フィル、ウィーン・フィル、ロンドン響、パリ管ほか数々の一流オーケストラに招かれ共演している。2024-25シーズンにベルリン・フィル アーティスト・イン・レジデンス就任。指揮者ではチョン・ミンフン、グスターヴォ・ドゥダメル、アンドリス・ネルソンス、ヤニック・ネゼ＝セガン等と定期的に共演。高い人気を誇り、世界各地の権威あるコンサートホールでも多くのリサイタルを行う。



文京シビックホール 大ホール座席表



大ホール1階席1～18列目まではスロープ式の通路、19列目以降は階段状の通路となっています。
2階席は全て階段状の通路となっています。



響きの森 プレミアム・コンテンツ

出演者のインタビュー、コンサートの聴きどころなど、
コンサートが楽しくなる情報が盛りだくさん！



©Vaclav Jirasek

チェコ・フィルハーモニー管弦楽団 (管弦楽)

Czech Philharmonic Orchestra

音楽大国チェコが世界に誇るオーケストラ。1896年創立。デビュー公演はドヴォルザークが指揮した。1908年マーラーの交響曲第7番を作曲者自身の指揮により初演。その後歴代のチェコ人の名指揮者たちターリヒ(1929年ターリヒ指揮による初のレコーディングはスメタナ:「わが祖国」)、クーベリック、アンセル、ノイマナーの薫陶によって、チェコ・フィルはチェコが世界に誇るオーケストラとして、その名を確たるものとした。1990年、ピエロフラヴェックが首席指揮者に就任。続いてそのポストはアルブレヒト、アシュケナージ、マーカル、インバルに引き継がれ、2013年ピエロフラヴェックが再び首席指揮者に迎えられ、その数々の名演は世界の注目を集め、チェコ・フィルのかつての黄金時代と同様の高い演奏水準を回復させた。2018年10月セミヨン・ビシュコフが音楽監督・首席指揮者に就任。伝統と革新の融合したチェコ・フィルは新たな時代を歩んでいる。

〒112-0003
東京都文京区春日 1-16-21
文京シビックセンター1階
<https://www.b-academy.jp/access/>

● 交通アクセス

- ・ 東京メトロ丸ノ内線・南北線「後楽園」駅【直結】
- ・ 都営地下鉄三田線・大江戸線「春日」駅【直結】
- ・ B-ぐる (文京区コミュニティバス) 停留所1番「文京シビックセンター (春日駅前)」

